

支所001

項目名

地域おこし協力隊事業費

主要な施策

新市域特別振興費

ページ

26

所 属 名

国府町総合支所
地域振興課

年度

H27

事業の概要

【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555

【9次総の施策体系】4204

【予算計上の経過】
予算事業別概要目次：当初予算・P276（支所001）

【事業の概要】
都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、地域おこし活動の支援や、地域活動、地域の活性化に協力してもらいながら、国府地域への定住、定着を図り、大茅・成器地区の地域力の維持・強化に取り組む。

【事業の成果】
・地域おこし協力隊事業（平成27年11月から2人配置）
・事業期間 平成27年度～平成29年度（3年間）
[取り組み事業]
・地域資源・課題の掘起こし
・集落座談会の実施
・移住定住支援に伴う空き家調査、お試しハウス整備に向けた取り組み
・地域のイベント等への協力

【今後の課題・方向性】
人口減少や少子高齢化の進行が著しい鳥取市国府町大茅・成器地区において、地域外の人材を積極的に誘致し、定住・定着を図ることは、都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持、強化に資する取り組みであり、積極的な推進を図る必要がある。

会計名

一般会計

款

総務費

項

総務管理費

目

企画費

(単位:千円)

当初予算額

7,359

補正予算額

△ 3,598

予算流・充用額

0

最終予算額

3,761

その他財源の内訳

分担金

0

負担金

0

使用料

0

手数料

0

財産収入

0

寄付金

0

繰入金

0

贈収入

0

その他

0

本年度決算額

3,306

区 分

決算額

財源内訳

国・県支出金

0

地方債

0

その他

0

一般財源

3,306

計

3,306

(参考)

前年度決算額

0

評価結果

地域外の人材を積極的に誘致し、定住・定着を図ることは、都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持、強化に資する取り組みであり、積極的な推進を図る必要がある。

支所002

項目名

マスつりフェスタ補助金

主要な施策

観光キャンペーン事業費

ページ

40

所 属 名

国府町総合支所
地域振興課

年度

H27

事業の概要

【問合せ先】国府町総合支所 産業建設課 0857-39-0560

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
予算事業別概要目次：当初予算・P276（支所002）

【事業の概要】
「マスつりフェスタ」は、平成4年度から殷ダム建設に伴う将来の湖水並びに周辺の河川を利用したイベントとして周辺住民の協力を得て始まった。以来、町内外から多数の参加者を迎え、今や国府地域を代表する観光イベントとして定着している。
本事業は、豊かな自然と殷ダムの湖水を活用した地域が一体となるイベントを通して地域振興に資することを目的とし、国府地域の主要なイベントとして継続実施する。
《実施内容》
主 催：鳥取市国府町マスつりフェスタ実行委員会
時 期：平成27年5月31日（日）
場 所：殷ダム親水広場（鳥取市国府町楠城地内：袋川）
○マスつり大会
○マスのつかみどり（子ども対象）
○地域各種団体による特産品の販売等
○連携イベント（雨滝、殷ダム）

【事業の成果】
H24年度 1,944千円（参加者約 600人）
H25年度 1,944千円（参加者約 600人）
H26年度 2,144千円（参加者約1,300人）
H27年度 1,944千円（参加者約1,600人）

【今後の課題・方向性】
殷ダムと周辺を活用した地域活性化策としてより一層の内容充実を図る。

※その他財源の繰入金は、地域振興基金繰入金及びふるさと納税基金繰入金

会計名

一般会計

款

商工費

項

商工費

目

観光費

(単位:千円)

当初予算額

1,944

補正予算額

0

予算流・充用額

0

最終予算額

1,944

その他財源の内訳

分担金

0

負担金

0

使用料

0

手数料

0

財産収入

0

寄付金

0

繰入金

658

贈収入

0

その他

0

本年度決算額

1,944

区 分

決算額

財源内訳

国・県支出金

0

地方債

0

その他

658

一般財源

1,286

計

1,944

(参考)

前年度決算額

2,144

評価結果

殷ダム及び殷ダム周辺広場を活用した地域活性化策として、事業改善をおこないながら一層の充実を図る。

- 294 -

支所003	項 目 名	万葉集朗唱の会開催費		
主要な施策	文化振興費	ページ	46	所 属 名
年度	H27	国府町総合支所 地域振興課		
事業の概要		【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555 【9次総の施策体系】1201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P277（支所003） 【事業の概要】 国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が国守として赴任し、万葉集の最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ、平成6年に因幡万葉歴史館を開館、以来「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。 その一環として平成10年度から「万葉集朗唱の会」を開催してきており、県内外から多数の参加者を得ているほか、市内の小・中学校に短歌講座の案内をしたり、万葉衣装を着用・曲水の宴などを開催するなどの工夫により、万葉集への親しみや理解を深める機会として定着している。 ≪事業内容≫ 主 催：万葉集朗唱の会実行委員会 時 期：平成27年10月18日（日） 場 所：因幡万葉歴史館（伝承館） ○万葉衣装に身を包み、大伴家持が詠んだ470余首からの朗唱 ○曲水の宴、万葉茶席、万葉食・地産地消コーナー、子どもパレードなど 【事業の成果】 ・H25年度 1,900千円（参加者約1,600人） ・H26年度 1,900千円（参加者約1,700人） ・H27年度 1,900千円（参加者約1,400人） 【今後の課題・方向性】 国府地域の活性化のため、より一層の内容充実を図る。		
会計名 一般会計 款 教育費 項 社会教育費 目 文化振興費 (単位:千円) 当初予算額 1,900 補正予算額 0 予算流・充用額 0 最終予算額 1,900 本年度決算額 1,900 区分 決算額 財源内訳 国・県支出金 543 地方債 0 その他 0 一般財源 1,357 計 1,900		その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 雑収入 0 その他 0		
(参考) 前年度決算額 1,900		評価結果 地域住民による実行委員会組織主催のイベントで、参加者も年齢、性別は問わず、県内外から幅広く、現在の形で継続することは妥当である。万葉のふるさととしてのまちづくりを進めるうえで、万葉集への親しみや理解を深める内容の工夫をしながら、継続していく必要がある。		

支所004	項 目 名	万葉フェスティバル開催事業費		
主要な施策	文化振興費	ページ	46	所 属 名
年度	H27	国府町総合支所 地域振興課		
事業の概要		【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555 【9次総の施策体系】1201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P277（支所004） 【事業の概要】 国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。 「大伴家持大賞短歌募集事業」は、因幡万葉歴史館開館の平成6年から始まり、短歌愛好家の間では全国的に周知されることとなった。 平成21年の万葉集終焉から1250年を記念した「全国万葉フェスティバルin鳥取」を契機に、翌22年からは従来の「大伴家持大賞短歌募集事業」と「全国万葉フェスティバルin鳥取」の一部事業を統合し、さらに因幡の鳥取が重要な万葉故地であること、万葉のふるさと因幡の鳥取市を広く情報発信するため「万葉フェスティバルin鳥取」として実施している。 ≪事業内容≫ 時 期：平成27年10月18日（日） 場 所：国府町中央公民館 ○短歌募集（選考会・審査発表会・表彰式） ○講演会、対談 【事業の成果】 ・H25年度 3,400千円 応募者数4,017首（一般1,575首、児童生徒の部2,442首） ・H26年度 3,400千円 応募者数3,111首（一般1,646首、児童生徒の部1,465首） ・H27年度 3,400千円 応募者数2,343首（一般1,521首、児童生徒の部 822首） 【今後の課題・方向性】 国府地域の活性化対策として、より一層の内容充実を図る。		
会計名 一般会計 款 教育費 項 社会教育費 目 文化振興費 (単位:千円) 当初予算額 3,400 補正予算額 0 予算流・充用額 0 最終予算額 3,400 本年度決算額 3,400 区分 決算額 財源内訳 国・県支出金 972 地方債 0 その他 0 一般財源 2,428 計 3,400		その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 雑収入 0 その他 0		
(参考) 前年度決算額 3,400		評価結果 市の主要な文化事業のひとつと位置づける全国的規模の事業である。現在は支所単独で実施しているが、本庁担当課との役割分担、連携により、充実した取組が必要と考える。		

支所005	項 目 名	ウォークラリー大会実行委員会補助金		
主要な施策	体育大会費	ページ	48	所 属 名
年度	H27	事業の概要		
会計名		【問合せ先】教育委員会事務局 国府町分室 0857-39-0563		
一般会計		【9次総の施策体系】3103		
款	教育費	【予算計上の経過】		
項	保健体育費	予算事業別概要目次：当初予算・P278（支所005）		
目	体育振興費	【事業の概要】		
(単位:千円)		万葉ウォークラリー大会は、国府地域の豊かな自然と豊富な文化財を体験しながら心と身体の健康づくりができるイベントとして定着している。大人から子どもまでが気軽に参加できる自然体験型のイベントとして幅広い参加者を得て開催しており、地域の観光振興の推進はもとより、歴史と文化の町“こくふ”PRに寄与している。		
当初予算額	316	◇事業の内容		
補正予算額	0	・主 催：鳥取市国府町万葉ウォークラリー実行委員会		
予算流・充用額	0	・参加料：一般200円、中学生以下・65歳以上無料		
最終予算額	316	・時 期：平成27年10月3日（土）		
本年度決算額	264	・場 所：鳥取市国府町宮下地区周辺		
区分	決算額	○史跡等チェックポイントを回るウォークラリー		
財源内訳		○鍋の振る舞い等		
国・県支出金	0	【事業の成果】		
地方債	0	平成25年度 316千円（参加者数53チーム、224人）		
その他	0	平成26年度 316千円（参加者数75チーム、291人）		
一般財源	264	平成27年度 264千円（参加者数53チーム、201人）		
計	264	【今後の課題・方向性】		
(参考)		受益者負担による自主財源の確保の継続と算定基準等補助事業の内容を検討していくとともに、内容の充実を図っていきたい。		
前年度決算額	316	評価結果		
		算定基準等の内容を検討し、適正な補助事業の運営を図っていききたい。また、平成27年度から受益者負担等を実施したことから、更なる参加者へのサービス内容充実を図っていく。		

支所006	項 目 名	福部地域活性化推進事業費		
主要な施策	新市域特別振興費	ページ	26	所 属 名
年度	H27	事業の概要		
会計名		【問合せ先】福部町総合支所 地域振興課 0857-75-2811		
一般会計		【9次総の施策体系】4204		
款	総務費	【予算計上の経過】		
項	総務管理費	予算事業別概要目次：当初予算・P278（支006）		
目	企画費	【事業の概要】		
(単位:千円)		福部地域に豊富にある海、山などの自然観光のスポットや、特産物、伝統行事などの地域資源を有効活用しながら、地域外の人々を福部に呼び込んで地域の活性化につなげていく。		
当初予算額	224	【事業の成果】		
補正予算額	0	「らっきょう大学」ホームページ管理経費及び、体験メニュー実施の経費等		
予算流・充用額	0	○事業の実績		
最終予算額	224	平成25年度 240千円		
本年度決算額	148	平成26年度 224千円		
区分	決算額	平成27年度 148千円		
財源内訳		【今後の課題・方向性】		
国・県支出金	0	今後、ニーズの多様化が予想される、グリーンツーリズムなどの体験型メニューの開発と、その受け皿となる組織、団体への支援。		
地方債	0			
その他	0			
一般財源	148			
計	148			
(参考)		評価結果		
前年度決算額	201	引き続き、ホームページなどにより福部地域の魅力を全国へ発信することと、グリーンツーリズムの推進役となる組織、団体の構築。		

支所007		項 目 名		らっきょう生産振興大会助成事業	
主要な施策		地域特産物振興対策事業費		ページ	37
年度		H27		所 属 名	
				福部町総合支所 産業建設課	
会計名		事業の概要 【問合せ先】福部町総合支所 産業建設課 0857-75-2814 【9次総の施策体系】5101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P279（支所007） 【事業の概要】 らっきょう生産振興大会を開催し、生産者を中心に関係機関などが、現在抱えている課題、問題点等の解決策について協議・研修することにより、継続的な産地の維持発展を図る。また、隔年行っていたらっきょうサミットが平成24年度（鹿児島）後から3年に1度となった。 【事業の成果】 ・福部砂丘らっきょうが、平成28年3月農林水産省から地理的表示保護制度（GIマーク）に登録された。GIマークは、地域で長年育まれた特別な生産方法により高い品質や評価を獲得した農林水産物を登録するもので、但馬牛や夕張メロンなどが登録され日本一のブランド力の維持発展につながり、生産者の自信と生産基盤の強化につながった。 ・若手の生産農家が抱えている課題、問題点などの解決策について会合を6回開催した。また、大阪市場、有名スーパー等で消費者ニーズの調査やPRを行い消費者の好みや要望を把握した。 【今後の課題・方向性】 鳥取市福部町の特産品である砂丘らっきょうの品質向上と栽培面積の維持発展を図る。			
一般会計					
款 農林水産業費					
項 農業費					
目 農業振興費					
(単位:千円)					
当初予算額 276					
補正予算額 △ 22					
予算流・充用額 0					
最終予算額 254					
本年度決算額 253					
区 分		決算額			
財源内訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	253			
	計	253			
(参考)					
前年度決算額 1,192		評価結果			
		生産農家やらっきょう情勢が抱えている課題、問題点などの解決策について協議・研修する場として是非とも必要な事業である。			

支所008		項 目 名		各種団体負担金(むらづくり運動事業費、むらづくり大会補助金)	
主要な施策		各種団体負担金		ページ	45
年度		H27		所 属 名	
				教育委員会事務局 福部町分室	
会計名					
一般会計					
款	教育費				
項	社会教育費				
目	社会教育総務費				
(単位:千円)					
当初予算額		913			
補正予算額		△ 35			
予算流・充用額		0			
最終予算額		878			
本年度決算額		878			
区 分		決算額			
財源内訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	878			
	計	878			
(参考)					
前年度決算額		875			
事業の概要		【問合せ先】教育委員会事務局福部町分室 0857-75-2815 【9次総の施策体系】2101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P279（支所007） 【事業の概要】 まちづくり運動の中心となる協議会に活動経費の一部を助成し、住民による活気があり住みよい地域づくりを促進する。 【事業の成果】 福部まちづくり協議会への補助金及びまちづくり推進大会の講師謝金 25年度： 878, 000円 26年度： 875, 000円 27年度： 878, 000円 【今後の課題・方向性】 今後もまちづくり運動の推進を図る中で、年々変化する社会情勢や地域の現状を踏まえ、実情に合った「地域コミュニティ計画」の基で事業が実施されているか、常に確認する必要がある。			
評価結果	住民自らが地域のまちづくりの活性化に取り組むことが重要であり、まちづくりの成果の向上が期待できる事業に対して助成するよう、まちづくり協議会の交付金要綱を27年度に定め、28年度より施行する。これにより地域の公民館活動をより効果的に活性化させるよう支援していく。				

支所009		項 目 名		鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	
主要な施策		鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費		ページ	48
年度		H27		所 属 名 教育委員会事務局 福部町分室	
会計名					
一般会計					
款		教育費			
項		保健体育費		事業の概要 【問合せ先】教育委員会事務局 福部町分室 0857-75-2815 【9次総の施策体系】3103 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P280（支所009） 【事業の概要】 らっきょうの花が咲く10月下旬の日曜日にマラソン大会を開催する。 【事業の成果】平成25年度実績4,615千円 参加者1,295人 平成26年度実績4,947千円 参加者1,491人 平成27年度実績5,367千円 参加者1,450人 【今後の課題・方向性】 今後も、大会内容の充実とともに大会告知に努め、参加者の増加を図る。また、行政主導ではなく、地域住民主体で積極的、自由な発想で運営することが望ましいので、鳥取市の直営方式から地域団体運営方式に変更する。 ※その他財源の諸収入は、マラソン大会参加料他 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
目		体育振興費			
(単位:千円)					
当初予算額		5,572			
補正予算額		△ 192			
予算流・充用額		1			
最終予算額		5,381			
本年度決算額		5,367			
区 分		決算額			
財源内訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	3,245			
	一般財源	2,122			
	計	5,367			
(参考)					
前年度決算額		4,947			
評価結果		今後も、大会内容の充実とともに大会告知に努め、参加者の増加を図る。また、行政主導ではなく、地域住民主体で積極的、自由な発想で運営することが望ましいので、鳥取市の直営方式から地域団体運営方式に変更する。			

事業の概要
【問合せ先】教育委員会事務局 福部町分室 0857-75-2815
【9次総の施策体系】3103
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P280（支所009）
【事業の概要】 らっきょうの花が咲く10月下旬の日曜日にマラソン大会を開催する。
【事業の成果】平成25年度実績4,615千円 参加者1,295人 平成26年度実績4,947千円 参加者1,491人 平成27年度実績5,367千円 参加者1,450人
【今後の課題・方向性】 今後も、大会内容の充実とともに大会告知に努め、参加者の増加を図る。また、行政主導ではなく、地域住民主体で積極的、自由な発想で運営することが望ましいので、鳥取市の直営方式から地域団体運営方式に変更する。
※その他財源の諸収入は、マラソン大会参加料他 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

支所010		項 目 名		河原地域活性化推進事業費			
主要な施策		新市域特別振興費		ページ	26		
年度		H27		事業の概要			
会計名							
一般会計							
款 総務費							
項 総務管理費							
目 企画費							
(単位:千円)							
当初予算額		240					
補正予算額		0					
予算流・充用額		0					
最終予算額		240		事業の概要			
本年度決算額		235					
区 分		決算額					
財源内訳	国・県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	235					
	計	235					
(参考)						事業の概要	
前年度決算額		180					
評価結果		小額な事業費でありながら、多くの地域住民と協働また地域住民主体で行う当事業はとても重要で、成果の高い取り組みである。特に小中学生、地域住民の安全で安心な暮らしの確保等（犯罪発生の抑止）、更なる地域の防犯活動（見守り等）に資するため、事業内容を検証しながら、事業を発展させていく必要がある。					

所 属 名	
河原町総合支所 地域振興課	

【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111

【9次総の施策体系】0102

【予算計上の経過】
予算事業別概要目次：当初予算・P280（支所010）

【事業の概要】
新市域の活性化を図るため、地域振興機能を強化するとともに地域振興会議との連携することにより、地域住民との協働を基本とした地域振興策を確立する。

【事業の成果】
「自分たちのまちは自分たちで守る」を合い言葉に、不審者対応として、青色防犯パトロールを行っている。また、踏査事業として、危険個所の注意喚起の看板を設置するなどして、安心安全なまちづくりを確立するための事業を行った。
平成25年度 306千円
平成26年度 180千円
平成27年度 235千円

【今後の課題・方向性】
新市域振興ビジョンへも位置づけており、今後もより一層の充実を図る。

事業の概要
【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111
【9次総の施策体系】0102
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P280（支所010）
【事業の概要】 新市域の活性化を図るため、地域振興機能を強化するとともに地域振興会議との連携することにより、地域住民との協働を基本とした地域振興策を確立する。
【事業の成果】 「自分たちのまちは自分たちで守る」を合い言葉に、不審者対応として、青色防犯パトロールを行っている。また、踏査事業として、危険個所の注意喚起の看板を設置するなどして、安心安全なまちづくりを確立するための事業を行った。 平成25年度 306千円 平成26年度 180千円 平成27年度 235千円
【今後の課題・方向性】 新市域振興ビジョンへも位置づけており、今後もより一層の充実を図る。

支所011	項 目 名	河原城イベント企画事業費																										
主要な施策	観光活動費	ページ	40	所 属 名																								
年度	H27	河原町総合支所 地域振興課																										
会計名 一般会計 款 商工費 項 商工費 目 観光費 (単位:千円) 当初予算額 1,420 補正予算額 0 予算流・充用額 0 最終予算額 1,420 本年度決算額 1,420 <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,420</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,420</td> </tr> </table>		区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	1,420	計	1,420	事業の概要 【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111 【9次総の施策体系】5201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P281（支所012） 【事業の概要】 河原城は平成6年の設立当時から地域の拠点、シンボルとしての事業を展開してきた。地域に親しまれ、地域内外からの集客を図り、地域活性化の拠点となっている。観光客数や来場者数の減少が見込まれる中、行政、地域の各種団体と協働でイベントを実施することで地域の活性化、まちおこしが図られる。 委託先 風土資産研究会 開催時期 ・茶会 5月 ・月見会 9月 【事業の成果】 河原の活性化、まちおこしを目的に、5月にチャリティー事業として春の茶会を行い、収益を日赤等へ寄付している。また、9月には月見会を行い、たくさんの集客を見ることが出来た。 <table border="1"> <tr> <th>集客数</th> <th>茶 会</th> <th>月見会</th> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>995名</td> <td>682名</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>1,001名</td> <td>946名</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>993名</td> <td>957名</td> </tr> </table> 【今後の課題・方向性】 開催内容等を再度検討し、今後も一層の充実を図る。 鳥取自動車道の開通に伴い、県外からの集客が図られたこともあり継続して実施する。			集客数	茶 会	月見会	平成25年度	995名	682名	平成26年度	1,001名	946名	平成27年度	993名	957名
区 分	決算額																											
国・県支出金	0																											
地方債	0																											
その他	0																											
一般財源	1,420																											
計	1,420																											
集客数	茶 会	月見会																										
平成25年度	995名	682名																										
平成26年度	1,001名	946名																										
平成27年度	993名	957名																										
(参考) 前年度決算額 1,420		評価結果 両事業は地域イベントとして定着しており、日本赤十字社のチャリティにも毎年度取組むなど格調高いイベントとなっている。春・秋の行楽シーズンに全国からの来訪者があるが、来訪者数が天候に左右されるリスクがある。今後、天候に左右されにくいイベント等内容の検討及び更なる情報発信の強化を図り、来訪者の増を目指す必要がある。																										

支所012	項 目 名	フライトフェスティバル事業費																							
主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	40	所 属 名																					
年度	H27	河原町総合支所 地域振興課																							
会計名 一般会計 款 商工費 項 商工費 目 観光費 (単位:千円) 当初予算額 350 補正予算額 0 予算流・充用額 0 最終予算額 350 本年度決算額 350 <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>350</td> </tr> </table>		区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	350	計	350	事業の概要 【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111 【9次総の施策体系】5201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P281（支所012） 【事業の概要】 霊石山と千代川という立地条件を活かしたスカイスポーツの振興は、河原のまちづくりイベントとして定着している。全国に鳥取のかわはらと霊石山フライトエリアを広くPRするとともに、地元への経済効果県内外と地元との交流が期待される。 事業主体 八上姫ジャパンレディースカップ実行委員会 開催時期 9月 【事業の成果】 <table border="1"> <tr> <td>平成25年度</td> <td>400千円</td> <td>参加者60名</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>315千円</td> <td>参加者60名</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>350千円</td> <td>参加者60名</td> </tr> </table> 【今後の課題・方向性】 ジオパークエリア「霊石山」の観光振興のため、参加者の増を図る必要もあるが、実施団体が自立して自主運営することが望ましい。			平成25年度	400千円	参加者60名	平成26年度	315千円	参加者60名	平成27年度	350千円	参加者60名
区 分	決算額																								
国・県支出金	0																								
地方債	0																								
その他	0																								
一般財源	350																								
計	350																								
平成25年度	400千円	参加者60名																							
平成26年度	315千円	参加者60名																							
平成27年度	350千円	参加者60名																							
(参考) 前年度決算額 315		評価結果 近年、スカイスポーツの競技人口減少に伴い、その活動成果等みえにくい部分もある。ジオエリアで、有名な霊石山で行われるこのフェスティバルは意義があると考え、今後、地域住民「国英地区」との連携また観光エリアとして、効果的な開催が必要と考える。また、毎年度内容を検証し、今後、実施団体が自立して運営実施していく必要がある。																							

支所013		項 目 名		あゆ祭補助金			
主要な施策		観光キャンペーン事業費		ページ	40		
年度		H27		事業の概要			
会計名							
一般会計				河原町総合支所 産業建設課			
款 商工費							
項 商工費							
目 観光費							
(単位:千円)							
当初予算額		4,926					
補正予算額		0					
予算流・充用額		0					
最終予算額		4,926					
本年度決算額		4,926					
区 分		決算額					
財源内訳	国・県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	462					
	一般財源	4,464					
	計	4,926					
(参考)							
前年度決算額		5,126					

事業の概要	
【問合せ先】河原町総合支所 産業建設課 0858-76-3115	
【9次総の施策体系】5201	
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P282（支所013）	
【事業の概要】 補助金名 あゆ祭補助金 目 的 補助金の交付 内 容 あゆのつかみ取り、鮎の塩焼き、川下りレース、子ども広場、子ども太鼓、女性太鼓、ステージショー、花火大会など 補助対象 あゆ祭企画実行委員会	
【事業の成果】 平成25年度補助金 4,926千円 入込客数 22,500人 平成26年度補助金 5,126千円 入込客数 20,500人 平成27年度補助金 4,926千円 入込客数 23,000人	
【今後の課題・方向性】 鳥取自動車道の開通以降近隣からの年々車での入込客数が増加。 今後も充実した事業展開が求められる。 ※その他財源の繰入金は、地域振興基金繰入金及びふるさと納税基金繰入金	
評価結果 毎年事業終了後、実行委員会では事業効果等を検証しているが、会場収容能力がほぼ上限に達している。今後の方針としては、入込客数の増加を目的とせず、民間活力の導入等、事業内容の質の向上を図っていききたい。また、実行委員会と事務局との役割分担の明確化等により事務の効率化を図っていききたい。そして、引き続き地域と一体となった祭りになるよう努力していききたい。	

支所014		項 目 名		町民スポーツの日開催費	
主要な施策		体育大会費		ページ	48
年度		H27		所 属 名	
				教育委員会事務局 河原町分室	
会計名		事業の概要			
一般会計		【問合せ先】河原町総合支所 教育委員会河原町分室 0858-76-3122			
款 教育費		【9次総の施策体系】3103			
項 保健体育費		【予算計上の経過】			
目 体育振興費		予算事業別概要目次：当初予算・P282（支所013）			
(単位:千円)		【事業の概要】（地域振興特定予算）			
当初予算額		152		平成12年度より実施。河原地域市民を対象として健康増進及び生涯スポーツの普及拡大を願い、子どもから高齢者までスポーツを楽しむ日として「町民スポーツの日」を設け、レクリエーションスポーツ大会（グラウンドゴルフ大会）を実施する。レクスポーツの日常生活への定着化により健康増進を目指す。	
補正予算額		0		【事業の成果】	
予算流・充用額		0		平成25年度 6月15日 参加者175人 平成26年度 6月14日 参加者143人 平成27年度 6月 7日 参加者148人	
最終予算額		152		【今後の課題・方向性】	
本年度決算額		146		高齢者が生きがいをもって健康に過ごせるまちを目指し今後も引き続き実施する。	
区 分		決算額		【評価結果】	
財源内訳	国・県支出金	0		「河原地域市民スポーツの日」として定着しており、町民の参加も毎年150人前後と安定している。種目については、誰でも気軽に参加できる「グラウンドゴルフ大会」を近年開催しているが、他の種目も視野にいれながら、今後も鳥取市体育協会河原町支部と協議・連携を図り、健康スポーツへの関心度の向上また、スポーツ振興を図っていく必要がある。	
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	146			
	計	146			
(参考)		前年度決算額		152	

支所015	項 目 名	ジゲおこし事業費		
主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	40	所 属 名
年度	H27	用瀬町総合支所 地域振興課		
会計名 一般会計 款 商工費 項 商工費 目 観光費 (単位:千円) 当初予算額 1,424 補正予算額 0 予算流・充用額 0 最終予算額 1,424 本年度決算額 1,424		事業の概要 【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-87-2111 【9次総の施策体系】5201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P283（支所015） 【事業の概要】 用瀬町総合支所の地域活性化推進事業のテーマである「水と人が調和した地域づくり」の一環として、千代川と用瀬山系を活用したイベントを実施。 【事業の成果】 1 ふれあいフェスティバル（H27. 8. 22） 参加者数 3500人(H27)、3500人(H26)、1500人(H25) 2 川遊びフェスティバル（夏：H27. 7. 12 春：H28. 3. 21） 参加者数 延べ90人(H27)、延べ180人(H26)、延べ134人(H25) 3 用瀬山系トレイル交流大会（H27. 10. 18） 参加者数 120人(H27初年度) 【今後の課題・方向性】 流しびなの里もちがせの地域活性化を図るため、多くの市民が参加するものであり、今後も必要な事業である。その他地域活性化の取り組み事業を検討することも必要と考える。 ※その他財源の繰入金は、地域振興基金繰入金及びふるさと納税基金繰入金		
(参考) 前年度決算額 1,424		評価結果 ふれあいフェスティバル、川遊びフェスティバルに加え27年度より用瀬山系トレイル交流大会を実施した。今後も、用瀬の自然（山と川）と住民憩いの施設（運動公園）を活用したイベントに取り組み、ジゲおこしを行い地域の活力向上を図る。		

支所016	項 目 名	前田直衛顕彰事業費		
主要な施策	文化振興費	ページ	46	所 属 名
年度	H27	用瀬町総合支所 地域振興課		
会計名 一般会計 款 教育費 項 社会教育費 目 文化振興費 (単位:千円) 当初予算額 500 補正予算額 0 予算流・充用額 0 最終予算額 500 本年度決算額 500		事業の概要 【問合せ先】用瀬町総合支所 地域振興課 0858-87-2111 【9次総の施策体系】1201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P283（支所016） 【事業の概要】 用瀬町出身の日本画家故前田直衛氏は、郷土が誇る日本画家でありながら、一般にはあまり知られていない。平成27年に生誕100年を迎える氏の偉業を称え、功績を広く知らせることにより、市の文化芸術の促進及び用瀬地域の活性化を目的とする。なお、夫人の前田敦子氏からは多数の作品の寄贈や用瀬町の文化芸術のために多額の寄附をいただいている。委託先は前田直衛顕彰会。 【事業の成果】 H25年 1,000千円 展示会開催（流しびなの館）、PRパンフレット制作、佐治・用瀬地域絵画交流事業、ほか H26年 3,500千円 作品集制作、プレイベント実施（ギャラリーあんど）、佐治・用瀬地域絵画交流事業、ほか H27年 500千円 生誕100年記念展開催（鳥取県立博物館）、家蔵作品展開催（大村地区公民館）、佐治・用瀬地域絵画交流事業、ほか 【今後の課題・方向性】 生誕100年を迎えた氏の画業を多くの市民に知っていただき、文化芸術の振興や用瀬地域の活性化につなげるため今後も継続して取組む。		
(参考) 前年度決算額 3,500		評価結果 前田直衛画伯を顕彰するため地域内住民で組織した顕彰会により、生誕100年を迎えた前田画伯を紹介する特別展や図録作成などの記念事業により、広く多くの方にその画業を知らしめるとともに、小中学生との芸術交流事業といった地域の文化振興につながる取り組みを行っており、今後も継続した事業実施を行いたい。		

支所017		項 目 名		町民音楽祭開催費	
主要な施策		市民音楽祭開催費		ページ	46
年度		H27		事業の概要 【問合せ先】用瀬町総合支所 地域振興課 0858-87-2111 【9次総の施策体系】1201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P284（支所017） 【事業の概要】 用瀬町の3月3日の恒例行事として、用瀬町流しびなの館ふれあいホールに用瀬町内外の音楽団体や保育園、小学校が参加し、来場者と一緒に、童謡・唱歌を歌うことにより、ふるさと用瀬のよさを再認識する。用瀬町の春を告げる行事として定着している。 【事業の成果】 H25年度：100千円 出演11団体 参加者250名 H26年度：100千円 出演10団体 参加者200名 H27年度：100千円 出演10団体 参加者200名 【今後の課題・方向性】 地域で活動する音楽団体などの発表の場として、年代を越えて地域の方々が集う交流の場として、地域のニーズは高い。流しびなの里用瀬の春の恒例行事として地域住民のみならず周辺の地域の方々にも定着しており、今後も内容等の充実を図りながら継続して実施する。	
会計名					
一般会計					
款	教育費				
項	社会教育費				
目	文化振興費				
(単位:千円)					
当初予算額		100			
補正予算額		0			
予算流・充用額		0			
最終予算額		100			
本年度決算額		100			
区 分		決算額			
財源内訳	国・県支出金	29		その他財源の内訳	
	地方債	0		分担金	0
	その他	0		負担金	0
	一般財源	71		使用料	0
	計	100		手数料	0
				財産収入	0
				寄付金	0
				繰入金	0
				贈収入	0
				その他	0
(参考)					
前年度決算額		100		評価結果	保育園児や小中学生を始め、コーラスグループなど約250名が一堂に会し童謡、唱歌を歌うものであり、ふるさと用瀬の良さを再認識する行事として定着しており、継続して実施したい。

支所018		項 目 名		用瀬流しびな行事	
主要な施策		観光活動費		ページ	40
年度		H27		事業の概要	
会計名					
一般会計					
款	商工費				
項	商工費				
目	観光費			【問合せ先】用瀬町総合支所 産業建設課 0858 - 87 - 3786 【9次総の施策体系】1202 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P284（支所018） 【事業の概要】 毎年旧暦3月3日に無病息災を願って、千代川河原で棧俵に男女一対の紙雛をのせて千代川に流す情緒豊かな民俗文化行事が実施されるが、それに合わせ観光イベントを実施することにより、地域の活性化を図る。 主催である流しびな実行委員会に、行事に要する経費、PR用観光ポスター、パンフレット作成等の経費を補助する。 【事業の成果】 ・H25年度 2,133千円 4月12日実施 入込客数 6,000人 ・H26年度 2,133千円 4月2日実施 入込客数 8,000人 ・H27年度 2,133千円 4月21日実施 入込客数 5,500人 【今後の課題・方向性】 鳥取県を代表する民俗行事であり、実施内容を充実させより一層の集客を図る。	
(単位:千円)					
当初予算額	2,133				
補正予算額	0				
予算流・充用額	0				
最終予算額	2,133				
本年度決算額		2,133			
区 分		決算額			
財源内訳	国・県支出金	610			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	1,523			
	計	2,133			
(参考)					
前年度決算額		2,133			
評価結果	もちがせ流しびな行事は、昭和60年に「用瀬のひな送り」として鳥取県無形民俗文化財に指定された、後世に伝承すべき鳥取県を代表する民俗行事であり、春の風物詩として全国各地から多数の観光客が訪れる。また地元住民が企画から運営まで実施し、用瀬地域の一体化・活性化にも寄与しており、今後とも継続すべき事業である。				

支所019		項 目 名		流しびなマラニック大会補助金	
主要な施策		体育大会費		ページ	48
年度		H27		事業の概要 【問合せ先】教育委員会事務局用瀬町分室 0858-87-2288 【9次総の施策体系】3103 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P285（支所019） 【事業概要】 マラソンのように走ったり、ピクニック気分で歩いたり、自分の体力に合わせて種目が選択できるマラニック大会。市民相互の健康づくり及び親睦、健全なスポーツ活動の振興を図るとともに、「流しびなの里用瀬」を広くPRすることを目的に開催し、本年度で第28回目。自分の健康を楽しみながらのんびりと参加できる手軽さから人気を呼んでおり幼児から高齢者まで幅広い年齢層が参加している。 主催：もちがせ流しびなマラニック大会実行委員会 鳥取市 鳥取市教育委員会 期日：平成27年5月17日（日）第3日曜日 場所：流しびなの館周辺 種目：マラソン 10km・5km・3km ウォーク 5km・3km 【事業の成果】 H25年度 2,112千円 参加者1,501人 H26年度 2,112千円 参加者1,370人 H27年度 2,112千円 参加者1,385人 【今後の課題・方向性】 用瀬地域の活性化対策として位置づけ、より一層の充実を図る。	
会計名					
一般会計					
款	教育費				
項	保健体育費				
目	体育振興費				
(単位:千円)					
当初予算額		2,112			
補正予算額		0			
予算流・充用額		0			
最終予算額		2,112			
		その他財源の内訳			
		分担金	0		
		負担金	0		
		使用料	0		
		手数料	0		
		財産収入	0		
		寄付金	0		
		繰入金	0		
		贈収入	0		
		その他	0		
区 分		決算額			
財源内訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	2,112			
	計	2,112			
(参考)					
前年度決算額		2,112		評価結果	自分の健康に合わせてランとウォークの選択ができ、気軽に参加しやすく、アットホームな大会として好評を得ている。本市の一大イベントとして定着しており地域活性化事業としても継続して実施したい。

支所020		項 目 名		山王滝遊歩道整備事業費	
主要な施策		地域振興対策費		ページ	26
年度		H27		事業の概要 【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211 【9次総の施策体系】0201 【予算措置上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P167(支020) 【事業の概要】 地域特性を活かしたまちづくりで、山王谷地域を拠点とした田舎暮らし体験や林業体験など体験滞在型観光事業を積極的に推進しているが、たんぼり荘から山王滝までの遊歩道は急な坂道が多く狭い道のため階段や転落防護柵などが毎年の積雪等により破損し危険な状態となっている箇所が多くあり、従前はロープを張るなどの応急措置対応していた。近年では中山間ふるさと体験活動支援事業等で小学生が多く訪れるなど入込客も増加し修繕の必要性が高まり、抜本的に危険箇所の修繕を実施。遊歩道利用者の安全・安心を高めることが出来た。 【事業の成果】 ・山王滝遊歩道整備事業 3,566,160円 階段工(木製丸太階段)230段整備、柵工(ﾎｰﾌﾞ柵木製2段)整備延長66.5m 【今後の課題・方向性】 佐治地域の魅力を発信する事業や地域課題の解決を支援する事業に積極的に取り組みます。	
会計名					
一般会計					
款 総務費					
項 総務管理費					
目 企画費					
(単位:千円)					
当初予算額		3,581			
補正予算額		0			
予算流・充用額		0			
最終予算額		3,581			
本年度決算額		3,566			
		その他財源の内訳			
区 分		決算額			
財源内訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	3,566			
	計	3,566			
		分担金		0	
		負担金		0	
		使用料		0	
		手数料		0	
		財産収入		0	
		寄付金		0	
		繰入金		0	
		贈収入		0	
		その他		0	
(参考)					
前年度決算額		0		評価結果	山王谷地域を拠点とした田舎暮らし体験や林業体験などによる体験滞在型観光事業を積極的に推進し、佐治地域の魅力を発信する事業や地域課題の解決を支援する事業に積極的に取り組みます。

支所021		項 目 名		地域おこし協力隊事業費	
主要な施策		新市域特別振興費		ページ	26
年度		H27		所 属 名 佐治町総合支所 地域振興課	
会計名					
一般会計					
款 総務費					
項 総務管理費					
目 企画費					
(単位:千円)					
当初予算額		12,646			
補正予算額		△ 1,129			
予算流・充用額		0			
最終予算額		11,517			
本年度決算額		11,198			
区 分		決算額			
財源内訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	19			
	一般財源	11,179			
	計	11,198			
(参考)		前年度決算額		10,633	
評価結果		協力隊員4名が平成29年度以降も佐治町に定住、定着することを成功させるため新たな支援事業導入検討が必要です。			

事業の概要	
【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211	
【9次総の施策体系】2101	
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 1 6 7 (支 0 2 1)	
【事業の概要】 都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、一定期間以上、農地の耕作放棄地の再生・利活用推進支援、農産物や加工品の販売促進・移動販売・買い物支援活動、五つの地域資源の利活用促進活動等の地域協力活動に従事してもらいながら、佐治地域への定住・定着を図る取り組みについての必要な支援を行った。	
【事業の成果】 ・地域おこし協力隊事業（平成26年度より4人雇用） H26年度実績 10,633千円 H27年度実績 11,198千円	
【今後の課題・方向性】 ・人口減少や少子高齢化の進行が著しい鳥取市佐治町に於いて、地域外の人材を積極的に誘致し、定住・定着を図ることは、地域力の維持強化に資する取り組みであり、積極的な推進を図る必要がある。 ・事業最終年度を迎えるにあたり、協力隊員の定住支援を強化していく必要がある。	
※その他財源の諸収入は、農産物販売収入	

支所022		項 目 名		ふるさとの味祭り事業費補助金	
主要な施策		むらづくり活性化推進事業費		ページ	36
年度		H27		所 属 名 佐治町総合支所 地域振興課	
会計名					
一般会計					
款	農林水産業費				
項	農業費				
目	農業総務費				
(単位:千円)					
当初予算額	1,395				
補正予算額	0				
予算流・充用額	0				
最終予算額	1,395				
		その他財源の内訳			
本年度決算額		1,228			
		分担金		0	
		負担金		0	
		使用料		0	
		手数料		0	
		財産収入		0	
		寄付金		0	
		繰入金		0	
		贈収入		0	
		その他		0	
区 分		決算額			
財源内訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	1,228			
	計	1,228			
(参考)					
前年度決算額		1,470		評価結果	佐治地域の豊かな自然や特産物、伝統芸能、民芸品等を広くPRし、また、協働のまちづくり推進のために必要です。

支所023		項 目 名		さじアストロパーク企画イベント等事業費	
主要な施策		さじアストロパーク運営管理費		ページ	47
年度		H27		所 属 名	
				佐治町総合支所 地域振興課	
会計名		事業の概要			
一般会計		【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211			
款 教育費		【9次総の施策体系】2102			
項 社会教育費		【予算計上の経過】			
目 さじアストロパーク管理費		予算事業別概要目次：当初予算・P291（支023）			
(単位:千円)		【事業の概要】			
当初予算額		3,050		平成6年に開園した、さじアストロパークの充実を図るため、アストロパーク3大祭り（星、月、雪）を実施。またプラネタリウム開催番組を更新する事により、多くの来館者に来ていただいている。日本宇宙少年団鳥取アストロ分団補助金を交付。	
補正予算額		0		【事業の成果】	
予算流・充用額		0		平成25年度 3,070千円	
最終予算額		3,050		平成26年度 3,070千円	
本年度決算額		3,050		平成27年度 3,050千円	
区 分		決算額		事業内容	
財源内訳	国・県支出金	0		アストロパーク3大祭り等（星、月、雪） 840千円(5件 観客延2,125名協力団体75)	
	地方債	0		プラネタリウム独自開発番組制作 2,160千円(4編、観覧5,068名)	
	その他	0		日本宇宙少年団鳥取アストロ分団補助金交付 50千円(事業費157,454円)	
	一般財源	3,050		日本宇宙少年団鳥取アストロ分団補助金 1団体42名と保護者 活動16案件延参加327名	
	計	3,050		【今後の課題・方向性】	
(参考)		評価結果		佐治地域の基幹施設として活用を推進し地域活性化を図る。	
前年度決算額		3,050		地域特性を生かした佐治町の基幹施設であり、より一層の実施事業拡充が必要です。	

支所024		項 目 名		地域おこし協力隊事業費	
主要な施策		新市域特別振興費		ページ	26
年度		H27		所 属 名	
				気高町総合支所 地域振興課	
会計名		事業の概要			
一般会計		【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011			
款 総務費		【9次総の施策体系】5104			
項 総務管理費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P287（支所024）			
目 企画費		【事業の概要】 鳥取市西商工会が中心となり策定した「鳥取市西いなば地域振興ランドデザイン」の実現に向けて、大都市圏から地域おこし協力隊員を募集、採用し、地域活性化に取り組む。主に「道の駅整備の調査研究」「まちづくり会社設立準備」「ジオパークエリア拡大に伴う地域資源の利活用」の実施を支援する。			
(単位:千円)		【事業の成果】 平成26年度 3,275千円 地域おこし協力隊員を2名採用し、気高道の駅（仮称）整備に伴うまちづくりの推進、山陰海岸ジオパークエリア拡大のPRの実施 平成27年度 5,937千円 「全国フットパスの集い2015in鳥取西いなば」の開催、気高道の駅（仮称）整備に向けた準備			
当初予算額		6,516		【今後の課題・方向性】 鳥取西道路開通や山陰海岸ジオパークエリア拡大を好機と捉え、関係機関等と連携し、地域住民の意向を取り入れながら、地域の活性化を図っていく。任期終了後は、引き続き地域づくりの後継者として定住・定着を図る必要がある。	
補正予算額		△ 458			
予算流・充用額		0			
最終予算額		6,058		【参考】	
本年度決算額		5,937		評価結果 協力隊員の活動の側面的な支援をはじめ、将来を見据え定住につながる仕掛けづくりなど、人口増加、地域の活性化につなげる活動が必要である。	
区 分		決算額			
財源内訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	5,937			
	計	5,937			
前年度決算額		3,275			

支所025		項 目 名		貝がら節まつり補助金			
主要な施策		観光キャンペーン事業費		ページ	40		
年度		H27		所 属 名 気高町総合支所 地域振興課			
会計名							
一般会計				事業の概要 【問合せ先】気高町総合支所地域振興課 0857-82-0011 【9次総の施策体系】5201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P288（支所025） 【事業の概要】 昭和46年に「七夕祭り」から「貝がら節祭り」へ名称変更し、気高地域を代表する夏の一大イベント、貝がら節のふるさとを広くPRする夏祭りとして毎年8月の第1金・土曜日に開催している。 1日目 水中花火大会、芸能ステージほか 2日目 貝がら節総踊り、船屋台パレードほか 【事業の成果】 貝がら節のふるさととして地域の魅力を発信し、交流人口の拡大及び貝がら節踊りの伝承が図れた。 平成25年度 4,207千円 延べ参加者6000人 平成26年度 4,017千円 延べ参加者5750人 平成27年度 3,977千円 延べ参加者6500人 【今後の課題・方向性】 地域に根差したイベントとして、実行委員会組織をさらに充実するとともに、総踊りのやり方や屋台村の拡充などにより交流人口拡大を図っていく。			
款		商工費					
項		商工費					
目		観光費					
(単位:千円)							
当初予算額		3,977					
補正予算額		0					
予算流・充用額		0					
最終予算額		3,977					
本年度決算額		3,977				その他財源の内訳	
区 分		財源内訳				分担金	
		国・県支出金				0	
		地方債				0	
		その他				0	
		一般財源				3,977	
		計				3,977	
		使用料				0	
		手数料				0	
財源内訳		財産収入				0	
		寄付金				0	
		繰入金				0	
		贈収入				0	
その他		0					
(参考)		前年度決算額		4,017			
評価結果		ジオパークエリア拡大、山陰道西道路開通など機会をとらえ、新たなイベントメニューの開発による観光客の増加策を講じる必要がある。また、「貝がら節祭り」を今以上に地域に根差したイベントとして盛り上げるため、実行委員会の事務局を地域住民で担えるような体制づくりが必要である。					

支所026		項 目 名		陸逢大堤うぐい突き補助金(気高町地域振興課)	
主要な施策		各種団体補助金負担金		ページ	40
年度		H27		所 属 名 気高町総合支所 地域振興課	
会計名					
一般会計					
款	商工費				
項	商工費				
目	観光費				
(単位:千円)					
当初予算額	93				
補正予算額	0				
予算流・充用額	0				
最終予算額	93				
本年度決算額	93				
区 分		決算額			
財源内訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	93			
	計	93			
(参考)					
前年度決算額	200				

支所027		項 目 名		貝がら節の郷づくり協議会補助金	
主要な施策		各種団体補助金負担金		ページ	40
年度		H27		所 属 名	
				気高町総合支所 地域振興課	
会計名		事業の概要			
一般会計		【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011			
款 商工費		【9次総の施策体系】5201			
項 商工費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P289（支所027）			
目 観光費		【事業の概要】 民謡「貝がら節」と地元特産物の「しょうが」・「温泉」をキーワードに、「浜村温泉映画祭」と「しょうがぼかぼかフェスタ」を開催し、観光客の誘致を促進し、交流人口を拡大して気高地域の活力の総合的な底上げを図る。			
(単位:千円)		【事業の成果】 「浜村温泉映画祭2016」、「しょうがぼかぼかフェスタ2016」を開催。 《誘致客数（延べ）》 平成25年度 1,598千円 参加者1000人 平成26年度 1,518千円 参加者3000人 平成27年度 1,518千円 参加者3700人			
当初予算額		1,518		【今後の課題・方向性】 「貝がら節」によりこだわったイベントを実施し、貝がら節の郷をPRし、一層活動を盛り上げていく。	
補正予算額		0			
予算流・充用額		0			
最終予算額		1,518		その他の財源の内訳	
				分担金 0	
本年度決算額		1,518		負担金 0	
				使用料 0	
区 分		決算額		手数料 0	
国・県支出金		434		財産収入 0	
地方債		0		寄付金 0	
その他		0		繰入金 0	
一般財源		1,084		雑収入 0	
計		1,518		その他 0	
(参考)		評価結果			
前年度決算額		1,518		全国的に有名な「貝がら節」をキーワードに、気高地域への観光客の流入を促し交流人口を増やすとともに、産業・文化の振興など地域のより一層の活性化を図っていく。	

支所028		項 目 名		気高スカロップ杯中学校バレーボール大会補助金	
主要な施策		気高スカロップ杯中学校バレーボール大会補助金		ページ	48
年度		H27		所 属 名	
				教育委員会事務局 気高町分室	
会計名		事業の概要			
一般会計		【問合せ先】教育委員会気高町分室 0857-82-1411			
款 教育費		【9次総の施策体系】1103			
項 保健体育費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P289（支所028）			
目 体育振興費		【事業の概要】 平成8年度に気高町長杯として開始。平成16年度の市町村合併後に気高スカロップ杯と名称変更し、鳥取市バレーボール協会主催で開催している。 市内の中学生にトップレベルのバレーボールの実践の機会を与え、技術力の向上とスポーツマン精神の高揚を図るとともに、県外選手との親睦を深める。			
(単位:千円)		【事業の成果】 中国、四国各県から選抜された男女各12チームの選手、役員等が参加。 鳥取市バレーボール協会の地元会員が中心となって大会運営に関わり地域の活性化が図られた。また、選手・役員が気高町内に宿泊することによる経済効果があった。 ◎平成25年度 500千円 選手400名参加 ◎平成26年度 500千円 選手450名参加。 ◎平成27年度 500千円 選手480名参加。			
当初予算額		500		【今後の課題・方向性】 気高町農業者トレーニングセンターと青谷町農林漁業者トレーニングセンターを会場として使用し、観戦者も増加傾向にある。西部地域の一大スポーツイベントとして引き続き開催する。	
補正予算額		0			
予算流・充用額		0			
最終予算額		500		その他の財源の内訳	
				分担金 0	
本年度決算額		500		負担金 0	
				使用料 0	
区 分		決算額		手数料 0	
国・県支出金		0		財産収入 0	
地方債		0		寄付金 0	
その他		0		繰入金 0	
一般財源		500		雑収入 0	
計		500		その他 0	
(参考)		評価結果			
前年度決算額		500		中学生に広くバレーボール競技の実践の機会を与えるとともに、技術の向上とスポーツマン精神の高揚を図り、心身共に健全な中学生の育成を目的とする当大会は、中学生のみならず県内外の選手、役員が気高町に宿泊すること、さらに地域情報が県内外に発信されるなど経済効果も十分に見込まれるため、今後も継続して実施していきたい。	

支所029		項 目 名		鹿野地域活性化推進事業費			
主要な施策		新市域特別振興費		ページ	26		
年度		H27		所 属 名 鹿野町総合支所 地域振興課			
会計名							
一般会計							
款 総務費							
項 総務管理費							
目 企画費							
(単位:千円)							
当初予算額		835					
補正予算額		0					
予算流・充用額		0					
最終予算額		835		事業の概要 【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011 【9次総の施策体系】2101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P290（支所029） 【事業の概要】 鹿野地域は「四季薫るまち鹿野」を基本理念として、協働のまちづくりを進めている。 地域住民や鹿野を訪れた方に四季の花を通じて、安らぎとゆとりを感じる事ができるまちを目指す。コスモスによる景観整備60a、ハス田による景観整備12a 【事業の成果】 市民と総合支所の協働を基本とした事業を実施することにより鹿野地域の振興を図るとともに、地域の一体感の醸成と地域の活性化を推進した。 平成25年度 488千円 平成26年度 540千円 平成27年度 477千円 【今後の課題・方向性】 より一層、地域住民との協働のまちづくりを推進し、地域の活性化を図る。 ※その他財源の繰入金は、地域振興基金繰入金及びふるさと納税基金繰入金			
本年度決算額		477					
区 分		決算額					
財源内訳	国・県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	477					
	一般財源	0					
計		477					
(参考)						評価結果 鹿野地域は「四季薫るまち鹿野」を目指し、協働のまちづくりを進めている。住民と行政の奉仕事業により整備されたコスモス畑やハス田は、街なみイベント、ウォーキングイベント等に活用される他、来訪者、地域住民が安らぎやうおいを感じられる空間となり、地域の魅力アップ、交流人口の増加、地域活性化に寄与している。	
前年度決算額		540					

支所030		項 目 名		地域おこし協力隊事業費(鹿野町地域振興課)	
主要な施策		新市域特別振興費		ページ	26
年度		H27		所 属 名	
				鹿野町総合支所 地域振興課	
事業の概要					
【問合せ先】		鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011			
【9次総の施策体系】		5104			
【予算計上の経過】		予算事業別概要目次：当初予算・P290（支所030）			
【事業の概要】		○地域おこし協力隊を配置 1名委嘱 ○委嘱日 平成26年9月1日 ○主な業務内容 ・鹿野地鶏のPRや市場調査 ・鹿野の農産物を関西方面の集合団地等へ出荷する体制の検討			
【事業の成果】		・協力隊は、当初の目的であった鹿野地鶏を扱う焼き鳥店を開業するため、平成28年2月末で退職し、鳥取市街地で開業した。 ・農産物を関西圏の大規模団地へ販売する仕組み作りのため、試験的に出張販売を実施した。 平成26年度 2,143千円 平成27年度 2,950千円			
【今後の課題・方向性】		今後は鳥取市西部地域あるいはブロック単位の活動を前提として協力隊の募集を行う。			
会計名					
一般会計					
款 総務費					
項 総務管理費					
目 企画費					
(単位:千円)					
当初予算額		3,782			
補正予算額		△ 755			
予算流・充用額		△ 9			
最終予算額		3,018			
本年度決算額		2,950			
区 分		決算額			
財源内訳					
国・県支出金		0			
地方債		0			
その他		0			
一般財源		2,950			
計		2,950			
その他の財源の内訳					
分担金		0			
負担金		0			
使用料		0			
手数料		0			
財産収入		0			
寄付金		0			
繰入金		0			
贈収入		0			
その他		0			
(参考)					
前年度決算額		2,143			
評価結果		今後は、活動範囲を鳥取市西部地域あるいはブロック単位とし、協力隊を募集していくことを検討する。			

支所031	項 目 名	わたたいな祭事業費														
主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	40	所 属 名												
年度	H27	鹿野町総合支所 地域振興課														
会計名 一般会計 款 商工費 項 商工費 目 観光費 (単位:千円) 当初予算額 2,769 補正予算額 0 予算流・充用額 0 最終予算額 2,769 本年度決算額 2,541 <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,541</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,541</td> </tr> </table>		区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	2,541	計	2,541	事業の概要 【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011 【9次総の施策体系】2101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P291（支所031） 【事業の概要】 地域活性化をめざしたイベントとして、住民と各種団体、行政とが連携して10月に開催。にぎわいを創出するとともに交流人口を増やすことで、住民の地域づくりの意識向上と地域経済の活性化を図る。 【事業の成果】 河川公園、街なみ、往来交流館、鳥の劇場、中央公民館の各会場で特徴あるイベントを行った。 平成25年度 1,113千円 690人 平成26年度 2,721千円 14,000人 平成27年度 2,541千円 14,500人 【今後の課題・方向性】 新たなイベントを企画するなど、交流人口増加へ向けた工夫が必要である。		
区 分	決算額															
国・県支出金	0															
地方債	0															
その他	0															
一般財源	2,541															
計	2,541															
(参考)		評価結果 16回目となる恒例のイベントであり、継続的に交流人口を増加させるために、新たなイベントを実施するなど、来場者を飽きさせない取り組みが必要である。運営方法のあり方の見直しを含め、変化に富んだ企画を立てていくことが重要である。														
前年度決算額 2,721																

支所032	項 目 名	町民音楽祭開催費(鹿野町地域振興課)														
主要な施策	市民音楽祭開催費	ページ	46	所 属 名												
年度	H27	鹿野町総合支所 地域振興課														
会計名 一般会計 款 教育費 項 社会教育費 目 文化振興費 (単位:千円) 当初予算額 3,200 補正予算額 0 予算流・充用額 0 最終予算額 3,200 本年度決算額 3,200 <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>3,200</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,200</td> </tr> </table>		区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	3,200	計	3,200	事業の概要 【問合せ先】地域振興課 0857-84-2011 【第9次総の施策体系】1201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P291（支所032） 【事業の概要】 【上演演目】 第29回ふるさとミュージカル「さくら姫物語」 【上演期日】 平成28年2月28日 【上演場所】 鳥取市民会館 【事業主体】 鹿野町民音楽祭実行委員会 【総事業費】 4,330千円 【事業の成果】 本年度は、大道具製作、舞台設営について新たな住民の参画を得ながら独力で実施し、舞台美術全般について高い評価を受けることができた住民の自信に直結した。また、市有施設の活用と住民手作りの拡充により一定の経費節減を図った。 あわせて、鳥取市民になじみの深い市民会館を活動拠点に加え、「鹿野町民のミュージカル」から「鳥取市民へのミュージカル」として全市への一層の定着に向け取り組んだ。 H25年度 3,200千円 782人（鹿野町中央公民館） H26年度 3,200千円 381人（鳥の劇場） H27年度 3,200千円 520人（市民会館） 【今後の課題・方向性】 地域人材ネットワークの活用拡充による実施体制の充実も含め、より効率的な運営方法や全市的な取り組みとなるよう最善の方法を検討していく。		
区 分	決算額															
国・県支出金	0															
地方債	0															
その他	0															
一般財源	3,200															
計	3,200															
(参考)		評価結果 効率的な運営方法の検討や自主財源の確保の検討が必要であるが、多世代間の住民コミュニティの醸成や文化芸術の振興及び地域を支える人材育成への貢献を勘案すれば、支援は必要である。														
前年度決算額 3,200																

支所033		項 目 名		スポーツクラブ鹿の助委託金	
主要な施策		総合型地域スポーツクラブ育成事業費		ページ	48
年度		H27		所 属 名	
				教育委員会事務局 鹿野町分室	
会計名		事業の概要			
一般会計		【問合せ先】 教育委員会鹿野町分室 0857-84-2131			
款 教育費		【9次総の施策体系】 3103			
項 保健体育費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P292（支所033）			
目 体育振興費		【事業の概要】 トレーニングルーム等の利用促進、スポーツをしていない人でも気軽に参加できる教室、健康・体力づくりをメインテーマとしたスポーツ教室等の開催を委託。 （ストレッチ教室、トレーニング機器利用講習、柔道教室、トレーニングルームを利用した健康教室） 委託先 総合型スポーツクラブ鹿の助			
(単位:千円)		【事業の成果】 スポーツ教室を3教室開催 トレーニングルームの機器利用指導 平成25年度 266千円 1,158人 平成26年度 267千円 1,805人 平成27年度 267千円 2,470人			
当初予算額		267		【今後の課題・方向性】 鹿野地域の健康増進、体力づくりへ向けてスポーツクラブが自主事業を展開するとともに、各種事業の共催を目指す。	
補正予算額		0			
予算流・充用額		0			
最終予算額		267		【参考】	
本年度決算額		267		評価結果	
				教室の内容を見直し、地域住民の多数の参加が得られるよう工夫していく必要がある。	
区 分		決算額			
財源内訳	国・県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	267			
	計	267			
(参考)					
前年度決算額		267			

支所034		項 目 名		日中韓高校生国際シンポジウム開催事業	
主要な施策		国際交流促進費		ページ	25
年度		H27		所 属 名	
				青谷町総合支所 地域振興課	
会計名		事業の概要			
一般会計		【問合せ先】 青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011			
款 総務費		【9次総の施策体系】 5401			
項 総務管理費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P292（支所034）			
目 企画費		【事業の概要】 青谷地域の国際化推進と、青谷高校生をはじめとする青少年の国際理解を通じた人材育成を図るため、青谷高校を会場に開催し、今回で19回目となる。交流都市として友好を深めている中国太倉市から明德高等学校の生徒等と、1996年の交流協議を経て過去18年にわたり交流を続けている韓国居昌郡の居昌中央高等学校から生徒等を招致しシンポジウムを開催し、地域住民の参加も呼びかけ友好交流を深めた。			
(単位:千円)		【事業の成果】 中国と韓国から訪問団を4日間にわたって受け入れ、周辺地域の視察を行いながら、若者同士の交流を図った。 シンポジウムでは、日本、中国、韓国の代表者各1名が、サブテーマに沿って意見発表を行い、パネリストによる質疑応答、会場一体となった意見交換を行った。また、各国の伝統芸能等のアトラクションを行った。これにより、直接外国の若者の意見を聞ける場やふれあう場を提供し、国際理解教育と国際交流の推進を図った。			
当初予算額		864		平成25年度 決算額 395千円 9月26日実施（24日～27日） 韓国5名（その他15名）受入	
補正予算額		0		平成26年度 決算額 409千円 9月25日実施（23日～26日） 韓国5名（その他15名）受入	
予算流・充用額		0		平成27年度 決算額 692千円 10月29日実施（27日～30日） 中国4名、韓国5名（その他16名）受入	
最終予算額		864		【今後の課題・方向性】 地域に根付いた事業であり、地域と一体となって交流を進め、鳥取県立青谷高等学校との協働事業として国際交流の場を提供する。	
本年度決算額		692		【参考】	
区 分		決算額		評価結果	
財源内訳	国・県支出金	0		高校生をはじめとする青少年の国際理解を通じた人材育成だけでなく、青谷地域さらには市全域の国際交流を推進するため、地域住民と積極的に関わりを持ちながら、直接外国の若者の意見を聞ける場やふれあう場を提供し、国際理解と交流の推進を図る。	
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	692			
	計	692			
前年度決算額		409			

支所035	項 目 名	中学生卓球選手権大会補助金		
-------	-------	---------------	--	--

主要な施策	地域振興対策費	ページ	26	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
-------	---------	-----	----	-------	------------------

年度	H27
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名		
一般会計		
款	総務費	
項	総務管理費	
目	企画費	
(単位:千円)		
当初予算額	500	
補正予算額	0	
予算流・充用額	0	

最終予算額	500	その他財源の内訳
分担金	0	
負担金	0	
使用料	0	
手数料	0	
財産収入	0	
寄付金	0	
繰入金	0	
贈収入	0	
その他	0	

本年度決算額	500
--------	-----

区 分	決算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	500
計	500

財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	500
計	500

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-85-0011

【9次総の施策体系】3103

【予算計上の経過】
予算事業別概要目次：当初予算・P293（支所036）

【事業の概要】
人口減少がますます進み、特色ある地域づくりが求められている中、「卓球のまち青谷（昭和60年わかつり卓球競技会場）」、「卓球の青谷高校（インターハイ30回出場）」として名をはせた「卓球」を青谷町の資源として再認識する事業として、青谷オープン卓球2015を開催した。
鳥取市内の中学生に広く卓球実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学生の育成を目指した。また、青谷高等学校（卓球部OB等）、地域住民など地域を挙げて大会の企画運営にかかわることにより、地域活性化を図った。

【事業の成果】
近府県の中学校で、各県卓球連盟から推薦を受けたチームと青谷中学校、鳥取県選抜チームが参加し、男女別の団体戦リーグ戦を行った。卓球の技術向上を目指し、小中高校生向けの講習会を実施した。

○実績
事業主体：青谷オープン卓球実行委員会
開催日及び場所：平成27年11月21日、22日、青谷町農林漁業者トレーニングセンター
内容：近府県中学校男女別団体戦卓球大会及び卓球講習会
平成27年度参加チーム 男子12チーム、女子9チーム（大会参加選手及び監督・役員230名、講習会参加者50名） 決算額：500千円

【今後の課題・方向性】
近府県の中学生にとって参加したいと思うような魅力のある大会を目指すとともに、地域及び中学・高校の活性化に繋がるように今後も継続して開催する。

支所036	項 目 名	青谷ようこそまつり事業補助金		
-------	-------	----------------	--	--

主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	40	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
-------	-------------	-----	----	-------	------------------

年度	H27
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名		
一般会計		
款	商工費	
項	商工費	
目	観光費	
(単位:千円)		
当初予算額	3,701	
補正予算額	0	
予算流・充用額	0	

最終予算額	3,701	その他財源の内訳
分担金	0	
負担金	0	
使用料	0	
手数料	0	
財産収入	0	
寄付金	0	
繰入金	0	
贈収入	0	
その他	0	

本年度決算額	3,677
--------	-------

区 分	決算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	3,677
計	3,677

財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	3,677
計	3,677

(参考)

前年度決算額	3,695
--------	-------

【問合せ先】地域振興課 0857-85-0011

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
予算事業別概要目次：当初予算・P293（支所035）

【事業の概要】
青谷ようこそまつりは、昭和63年度にはじまり、平成27年度は28回目となった。伝統工芸品の「因州和紙」をはじめ青谷町の地域資源をPRすべく、鳥取市の中の青谷がもつ魅力を「ようこそまつり」を通して地域を挙げて市内外に発信し、住民の一体感を醸成、地域活性化を図った。

【事業の成果】
「因州和紙」をメインテーマに、書道コンクールや高校生による書道パフォーマンス、和紙工芸品・紙漉きの体験などで因州和紙の魅力をPRした。また、地元の農林水産物や加工品販売など、住民団体等による“青谷ならではの”趣向を凝らしたバザーやステージイベント・作品展示など多彩なイベントを行った。

○実績
事業主体：青谷ようこそまつり実行委員会
平成25年度：入場者数実績 869人 決算額 1,362千円
（※台風により、ようこそまつり事業の一部のみ実施）
平成26年度：入場者数実績 5,658人 決算額 3,701千円
平成27年度：入場者実績 3,706人 決算額 3,677千円

【今後の課題・方向性】
青谷ようこそまつりを全面的に見直し、「青谷地域にぎわい創出事業」として「青谷ようこそ市場事業」と「青谷因州和紙産地強化事業」を実施し、因州和紙を中心として青谷地域の魅力を市内外に発信し、地域の活性化を図る。

支所037		項 目 名		あおや夏祭り事業費		
主要な施策		観光キャンペーン事業費		ページ	40	
年度		H27		所 属 名		
				青谷町総合支所 産業建設課		
会計名		事業の概要 【問合せ先】青谷町総合支所産業建設課 0857-85-0015 【9次総の施策体系】5201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P294（支所037） 【事業の概要】 平成27年度で18回目の開催となる夏のイベントである「あおや夏まつり」の事業実施に対する補助金。 （1）補助金名：あおや夏まつり事業補助金 （2）目 的：観光振興及び商業振興 （3）内 容：ステージイベント、屋台村、抽選会などの会場イベント （4）事業主体：鳥取市西商工会 【事業の成果】 継続して実施され、多くの地域住民に愛され親しまれている。実施主体と地域との連携が図られ、地域振興にもつながる事業である。またステージイベント開催等により町外からの入場者もあり、交流人口の増加が見込まれる。 平成25年度：入場者実績 2,000人 決算額 633千円 平成26年度：入場者実績 2,000人 決算額 615千円 平成27年度：入場者実績 2,200人 決算額 615千円 【今後の課題・方向性】 実施主体の後継者不足等の課題は残るが、地域の夏の一大イベントとして継続して支援していくことが必要である。今後も内容等を工夫し続け、地区外からの入場者増加に務める。				
一般会計						
款 商工費						
項 商工費						
目 観光費						
(単位:千円)						
当初予算額						615
補正予算額						0
予算流・充用額						0
最終予算額						615
本年度決算額		615				
		その他財源の内訳				
		分担金	0			
		負担金	0			
		使用料	0			
		手数料	0			
		財産収入	0			
		寄付金	0			
		繰入金	0			
		贈収入	0			
		その他	0			
区 分		決算額				
財源内訳		国・県支出金	0			
		地方債	0			
		その他	0			
		一般財源	615			
		計	615			
(参考)		評価結果				
前年度決算額		615	青谷地域の観光と商業振興を目的にスタートした本事業は、夏の一大イベントとして地域に定着し多くの住民に親しまれている。また毎年の多様なステージイベントやバザーには多くの来場客が訪れ、地域関係者の士気存続にも繋がっている。さらに来年度以降、青谷駅前等の地域の中心地域に一層賑やかな場を創出し、西部地域の交流の場とするため、企画内容の充実と事業規模の拡大を図りたい。			

支所038	項 目 名	池田市・青谷町スポーツ少年団交流親善大会開催費	
主要な施策	体育大会費	ページ	48
年度	H27	所 属 名	教育委員会事務局 青谷町分室
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】教育委員会事務局青谷町分室 0857-85-0014		
款 教育費	【9次総の施策体系】3103		
項 保健体育費	【予算計上の経過】なし		
目 体育振興費	【事業の概要】		
(単位:千円)	平成14年度から青谷町の姉妹都市である大阪府池田市との交流事業の一つに位置づけ、「青谷町に行きたい」という池田市の子どもの要望に応える形で実施。市町村合併後の平成17年度以降も鳥取市の交流都市として交流を継続。平成21年度からは鳥取市からの参加者を西部地域に拡大して実施している。青谷町スポーツ少年団指導者協議会へ、池田市・鳥取市スポーツ少年団交流親善軟式野球大会補助金を交付。		
当初予算額	54	【事業の成果】	
補正予算額	0	平成27年度は、両日とも好天に恵まれ、軟式野球の交流試合を実施した。各団の保護者が大会の運営に関わり、保護者の間でも温かい交流が行われた。池田市からは団員、指導者、保護者が訪れ、市内の宿泊施設に宿泊し、青谷地域をはじめとする鳥取市の自然や特産品をPRする貴重な機会にもなり、鳥取市への認識も深まった。	
予算流・充用額	0	平成24年度 166人（池田市25人、西部地域141人） 補助金54,000円 平成26年度 121人（池田市25人、西部地域 91人） 補助金54,000円 平成27年度 142人（池田市23人、西部地域119人） 補助金54,000円	
最終予算額	54	【今後の課題・方向性】	
本年度決算額	54	鳥取市の交流都市として、青谷地域だけでなく西部地域で引き続き継続し、交流促進を図る。	
区 分	決算額		
財源内訳	国・県支出金		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	54		
計	54		
(参考)	前年度決算額	54	都市間交流の促進と、スポーツ少年団活動の活性化のため必要な事業として継続していく。